

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 「信州伊那谷ガレット」による上伊那の新しい文化発信事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 信州伊那谷ガレット協議会 (代表 渡邊 竜朗 0265 (76) 9086) |
| 事業区分 | ⑤ア特色ある観光地づくり ⑥オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 1,546,860 円 (うち支援金: 1,222,000 円) |

事業内容

1. 「信州伊那谷ガレット食べ歩き MAP」
伊那谷のおいしい！に出会う旅 作成・配布
2. 地域内外向け各種イベントへの参加、及び主催イベント「ガレット・マルシェ 2017」開催。約 1,200 名。
3. 総合学習など教育の現場とガレット協議会の連携
辰野町川島小学校、伊那中学校、伊那西小学校などガレット体験教室実施。地域ガレットづくりも行った。
4. 中山間地でそば栽培を「知る」ワークショップ、「ガレット・ラボ」の開催。
5. 「ガレット・キャラバン」栽培したそばを使い、協議会加盟店キッチンにて、ガレット体験教室を開催した。



(活動写真)

【川島小学校全校ガレット体験教室】

【目標・ねらい】

- ① 山岳・季節観光客の増加・周遊化
- ② 伊那谷ガレットの普及
- ③ そばガレットで伊那谷をブランド地域に
- ④ 伊那谷の食文化として固定化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 支援金を活用し、3万部の「ガレットMAP」を作成、要所に徹底配備したことで、山とガレット、桜とガレットなど伊那谷の強みの連結が実現し、観光動向が変化、周遊化がはじまり、集客効果が高まった。
- ② 普及度、集客効果を示す数値として、各加盟店のガレット販売数を集計。3万1千食、2千7百万円をこえる実績を上げた。主催イベントには悪天候に関わらず1200名を超える集客があり、用意した800食のガレットが完売した。
- ③ そば栽培プロジェクトなどを通じ、TV、新聞、雑誌など各メディアに取り上げられ、伊那谷ガレットが露出する機会が大幅に増えた。
- ④ ガレット体験教室、地域ガレットづくり、など多くガレットを学ぶ機会を求めらるようになった。

※自己評価【 A 】

【理由】

伊那谷ガレットを目当てに多くの観光客が押し寄せるようになった。地元住民からも、ガレット教室を求められるようになり、食文化として定着をし始めた。

今後の取り組み

今後さらに伊那谷の強みの連結を目指し、普及、PRするポイントを絞り込みながら、内外から「世界一のガレット」「ガレットの聖地」伊那谷を印象付けられるよう、情報発信する。そのため、伊那谷ガレットサイトなどウェブ上の情報発信基地が必要になってくる。また、100年後もブランドガレットとしての地位を安定させるため、「伊那谷そば」を美味しく栽培する栽培技術も確立させ、そばの経済作物化を図りたい。種まき事業としての、食育プロジェクトも拡大させ、地域の食文化を誇りに持てる子供を増やしたい。